

「銀河鉄道 999 現実化プロジェクト」第2期スタート

最新の科学技術を導入して松本零士先生の世界を実現しようという「『銀河鉄道 999』現実化プロジェクト」の第2期がスタートしました。

11月11日から13日まで開催された「鉄道技術展」への出展に続き、11月26日には東京・秋葉原UDXにて「第12回銀河鉄道 999 現実化プロジェクト」の初回参加者向けの概論説明とアイデアソンが開かれました。

会合には、鉄道技術展でこのプロジェクトを知ったという鉄道事業者や鉄道技術関係者など初参加の方々も含め約20人が参加してくれました。



会合では始めに、同プロジェクトの理事である新産業文化創出研究所の廣常啓一所長から同プロジェクトの今までの経緯や、プロジェクトの第2期としてラッピング以外の世界観の創出について今後、アイデアを募って行くことなどが説明された。



アイデアソンでは、第2期のテーマの一つとなる街づくりについて参加者から拡張現実を使った街巡りなど多くの提案がなされました。また、テレビ会議で初参加した鳥取県の若桜鉄道の山田和昭社長は、若桜鉄道で運行しているSLの活用や、同鉄道のローケーション、駅舎、展示車両を使用した世界観の実現を提案されました。これに対して参加者からは、展示車両をプラットホームにした実証実験やイベントなどの意見や、東京から同鉄道までツアーバスを仕立ててのイベントなどのアイデアが出されました。



次回の説明会とアイデアソンは12月15日となります。